



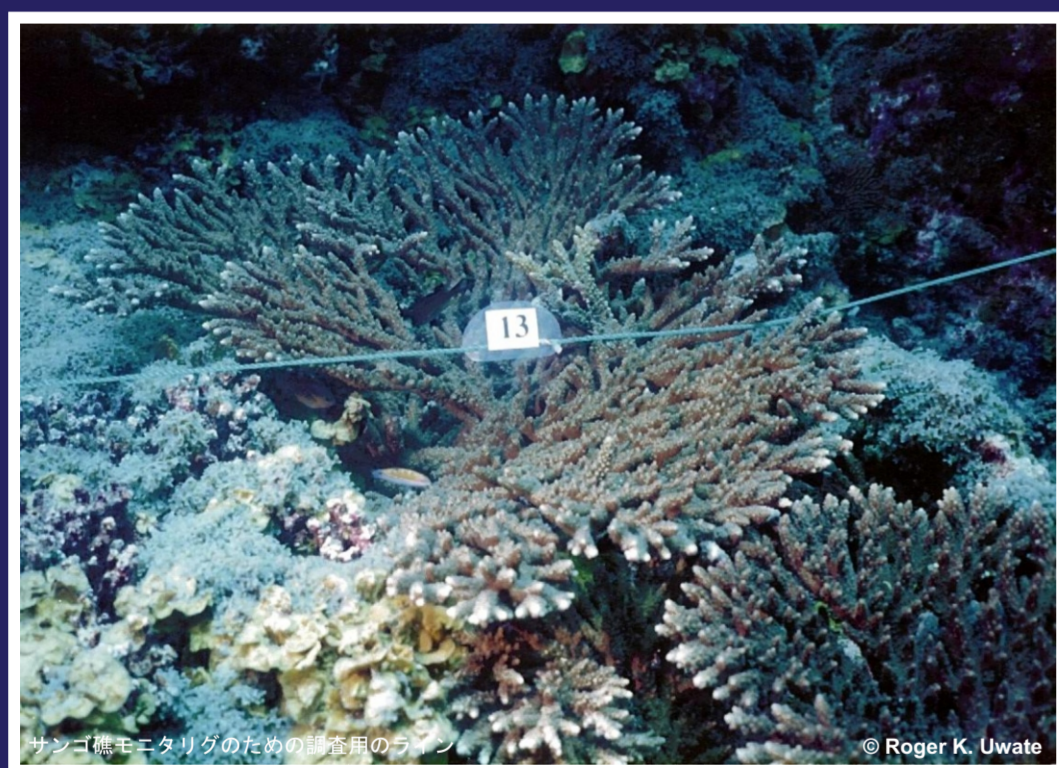
カヌー (ソロモン諸島) © Mike McCoy

ICRIの運営

ICRIの調整企画委員会 (CPC) は、メンバー国及び機関、団体が集まり、議論する場です。年1-2回開催されており、できるだけ多くの参加を得るため、通常、サンゴ礁関連の会議やワークショップの前後に開催され、また、毎回異なる地理的地域で行われています。CPCでは、国際社会に対し問題提起をするような決議がなされます。例えば、2003年には、「小島嶼途上国におけるサンゴ礁の重要性に関する決議」が採択されています。

特定の問題について国際社会に問題提起することを目的として、CPCにより、ICRIフォーラムを活用したオンライン上のワーキンググループとアドホック委員会が結成されています。例えば、サンゴ礁生物の取引や保護区内におけるアンカー禁止地域の設定などが議論されています。

「行動の枠組み」を実現するため、地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク (GCRMN) や国際サンゴ礁行動ネットワーク (ICRAN) などの横断的ネットワークが活動しています。



GCRMNは、サンゴ礁保全に関わる資源管理者を支援するため、ICRIに対してサンゴ礁の状況を報告するとともに、現状に対する意識向上を図り、80ヶ国のデータを提供しています。



網で行われたライントラawl網のデモンストラーション © James Oliver



ICRANのモデルサイト、シアンカアン生物圏保護地域 (メキシコ) © James Oliver

ICRANは、サンゴ礁生態系の管理を推進し、サンゴ礁に依存する人々のニーズに答えることを目的としています。他の地区での経験や成功事例を共有することにより、適切な管理技術の開発に向けて地域社会を支援しています。

写真提供：リーフベース
(<http://www.reefbase.org>)

<http://icriforum.org>